

2012年1月31日

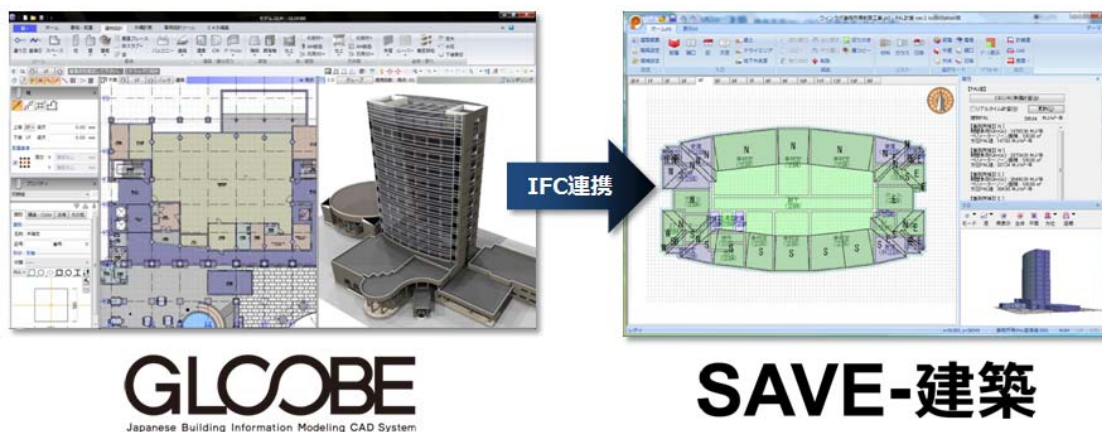
---

**BIM 建築設計システム「GLOOBE」/<sup>グローブ</sup>建築物省エネルギー計算システム「SAVE-建築」<sup>セーブ</sup>**  
**IFC<sup>\*</sup>連携で基本設計段階での省エネ計算を実現!**

---

福井コンピュータ株式会社  
株式会社建築ピボット

福井コンピュータ株式会社（本社：福井県福井市高木中央 1-2501、代表取締役社長：小林 徳也）、株式会社建築ピボット（本社：東京都文京区関口 1-24-8、代表取締役：千葉 貴史）の両社は、日本国内における建築設計に最適化された BIM（Building Information Modeling）普及拡大を目的に、BIM 建築設計システム「GLOOBE」（福井コンピュータ）と、建築物（非住宅）省エネルギー計算システム「SAVE-建築」（建築ピボット）の IFC データ連携を実現しました。

**建物モデルデータの IFC 連携により、基本設計段階における省エネルギー計算が効率的に！**

平成 21 年 4 月施行（一部 22 年 4 月施行）の省エネルギー法の改正以降、中小規模の建築物においても省エネルギーの取り組みに対する届出の義務化などで、設計者の業務負担が増加したため、省エネルギー計算に関わる業務の効率化が求められていました。

このような中、ビルや商業施設の企画・意匠・実施設計を支援する BIM 対応 CAD 「GLOOBE」と、(財)建築環境・省エネルギー機構が発行する「建築物の省エネルギー基準と計算の手引」等に準拠した省エネルギー計算システム「SAVE-建築」が IFC 連携を実現したことで、「GLOOBE」で作成した基本設計 3D モデルを連動させた省エネルギー計算が可能になり、圧倒的な省力化と設計ミス低減の両立を実現しました。

● **連携の主な内容**

- 方位・階・スペース（部屋）・壁・スラブ・建具（壁開口部）・カーテンウォールの情報を IFC 形式にて連携します。
- 「GLOOBE」の 3D 建物モデルデータを「SAVE-建築」に取り込めるため、再モデリングの必要なく省エネルギー計算を進められます。（属性等の条件設定が一部必要になります。）
- また、両システム共に日本国内特有の設計手法や各基準に対応しているため、実態に合った設計を大変効率良く行えることが最大の特徴です。



福井コンピュータ株式会社と株式会社建築ピボットでは、今回の連携による国内の BIM 市場の活性化と、建築業を取り巻く各種課題解決や環境改善を目的とした取り組みを強化していきます。

※IFC について

IAI (International Alliance for Interoperability) が定義する、建物を構成する全てのオブジェクト (例えばドア、窓、壁などのような要素) の体系的な表現方法の仕様。これらの仕様を IFC (Industry Foundation Classes) と呼び、アプリケーションで用いるプロジェクト・モデルのデータ構造も合わせて提示しています。詳しくは、IAI 日本ホームページを参照して下さい。 [http://www.iai-japan.jp/mission/whats\\_ifc.html](http://www.iai-japan.jp/mission/whats_ifc.html)

● **IFC 連携対応版の発売日**

- GLOOBE 2012 build:3113/3114 (2012 年 1 月 19 日発売)
- SAVE-建築 Ver.2 (2012 年 1 月 31 日発売)  
 ※PAL 計算のみ対応した SAVE-PAL は、2012 年 2 月 17 日発売予定です。

● **このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。**

福井コンピュータ株式会社 マーケティング室

Tel : 0776-67-6210 福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6

ホームページ : <http://www.fukuicompu.co.jp/>

株式会社建築ピボット

Tel : 03-3268-8071 東京都文京区関口 1-24-8

ホームページ : <http://www.pivot.co.jp/>